



その ③ 石けんでスッキリ！ お下がりの上手なもらいかた、回し方

卒業、卒園や進級直後のこの時期は、衣替えとも重なり、お下がりのやりとりが多い時期だと思います。お下がりをお願いしたとき「洗剤の香料臭がきついけど汚れはついたまま」と感じる場合があります（いただく立場なのにごめんなさい。染み抜きが趣味なので、「汚くていいよ、捨てるか迷ったら回して」とあらかじめ伝えてあるので）。

柔軟剤を使っているのか、または落ちていない脂汚れがあるのか、生地が少しねっとりしています。市販の合成洗剤はご存知の通り、石けんほど汚れ落ちが良くありません。それをごまかすために、白く見えるよう蛍光増白剤を入れたり、部屋干し臭を消すための強い香料を入れたりしています。でも長期保存するとごまかしがきかないのか、生地の本来の質感が損なわれています。

いただいたら、まず汚れと香料の臭いを消すために石けんで洗い直します。出るわ出るわ茶色い汁。今まで洗っていたのではなく、香りを付けて染めていただけ？というくらい汚れが出てきます。「シャボン玉スノール」を基本に、ひどい汚れには「シャボン玉スノール純石けん」と洗濯板でゴシゴシ（靴下など）。

洗い上がった時は、ねとつとした服が、軽くなったようにふんわり、こざっぱりして、輝きを増して見えます。こうしてから袖を通すのです。その気持ちの良いことと言ったら！（お下がり生地が柔らかいので、なおさら気持ちがいいのです♪）

また、一見きれいに見える服でも、濡れると生乾き臭が漂って

くるものもあります。それは煮沸で解決します。大きな鍋に服と水を入れぐらぐら沸騰してから5分くらい煮ると、ゴムの部分や、乾きが悪い重なった部分も、全く臭わなくなります。色物の場合は「パウダーリンス」を小さじ1杯ほど色止めに入れるといいです。生地がふんわり柔らかくなるおまけつき。

我が家がお下がり回すときも、この方法をしてから回します。ボロボロすぎて捨てられている物もあるでしょう。でも服を捨てる前に切ってウエスにする際も、柔軟剤や、洗剤の臭いはない方がいいですね。だって台所で、油でぎたぎたのフライパンやお皿を拭いたりするときにも使うかもしれないし。そしたら食器を洗うのが楽になるし、排水口も汚れない♪えっ、そんな貧乏くさいことしてるの、うちだけ？半分趣味ですからー（笑）。

ここまで大切に使い切るのを知っているからこそ、皆さんがお下がり下さるのですよね。いつも本当にありがとうございます。

石けんや酸素系漂白剤、重曹を使った
おきさん流「石けん生活のススメ」は
ホームページでご覧いただけます。

▶ <http://www.shabon.com/column/>



興 幸子(おきさちこ)さん

大学で天然物化学を専攻し、製薬メーカー、調剤薬局に薬剤師として勤務。安全で気持ちの良い生活法を提案する「ナチュラル家事」の講師として各地で講演中。薬剤師、公益社団法人日本アロマ環境協会認定アロマセラピーアドバイザー、ハウスキーピング協会認定整理収納アドバイザー